

**政策 01 みんなで支えあう健康のまちづくり**

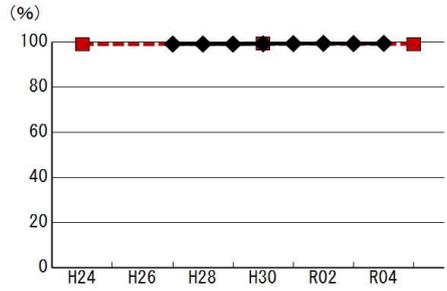
**施策 05 障がい者福祉の推進**

**あるべき姿**

施策がめざす尾張旭市の姿  
障がい者が安心して生活し、社会参加できています。

**施策の成果状況と評価**

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	在宅で生活している障がい者の割合 (%)	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対基準値
		【福祉課】	99.1	99.2	99.3	99
評価	(状況) 前年度の実績値に比べ、現状値が0.1ポイント増加した。 (原因) 障がい者数が121名増加したのに対し、施設入所者は1名減少したことが要因である。					
	算定式 (在宅障がい者数/全障がい者数) (3,690人-26人) / 3,690人 = 99.29% 99.3%					

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 障がい者の社会参加の促進

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	障がい者の自立支援サービス受給者数(人)	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【福祉課】	455	532	543	480	☀ (向上)
評価	(状況)前年度と比較し、現状値は11人増加した。 (原因)親の高齢化等に伴う介助者の不在や就労希望障がい者の増加等により、サービス受給者数が増加したことが要因である。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						☑ (達成)

## 基本事業01 障がい者の社会参加の促進

指標	施設入所から在宅生活への移行人数(人)	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【福祉課】	2	0	1	3	☂ (低下)
評価	(状況)前年度の実績値に比べ、現状値が1人増加した。 (原因)施設入所利用であった1名が就労移行支援へ移行したため。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						(---)

## 基本事業02 障がい者の自立支援

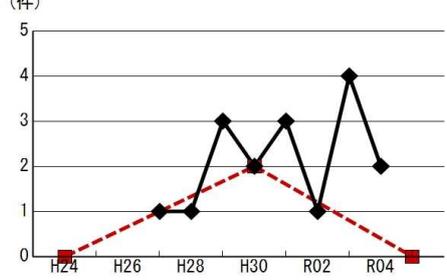
指標	障がい者支援ボランティアの人数(人)	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【福祉課】	236	231	238	350	☁ (横ばい)
評価	(状況)障がい者支援ボランティア数は横ばい傾向にある。 (原因)ボランティアの高齢化により、活動することが困難となり、ボランティア団体を退会されるかたがいる一方で、障がい者を支援するボランティア養成講座やボランティアサロンを開設したことで、新たなボランティアの発掘につながったため。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度
						(---)

## 基本事業02 障がい者の自立支援

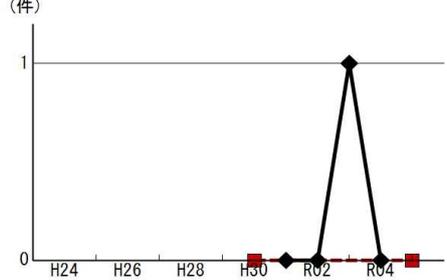
指標	地域生活支援事業延べ利用者数(人)	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【福祉課】	3,221	2,201	2,267	3,700	☂ (低下)
評価	(状況)前年度の実績値に比べ、現状値は66人増加したが、コロナ前の利用状況には戻っていない。 (原因)新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の普及等により、サービス利用者は微増となった。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						(---)

基本事業03 障がい者の人権擁護

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	障がい者の虐待件数（件）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【福祉課】	2	4	2	0	
評価	(状況) 前年度の実績値に比べ、現状値は2人減少した。 (原因) 虐待の相談・通報時の早期介入や関係機関との連携強化によるものである。	(件) 				対 前年度
						(横ばい)  (向上) 目 標 達成度 (---)

基本事業03 障がい者の人権擁護

指標	障がい者差別に関する事案件数（件）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【福祉課】	0	1	0	0	
評価	(状況) 前年度と比較し、現状値は1件減少した。 (原因) 差別解消に向けた周知啓発を実施したため。	(件) 				対 前年度
						(向上)  (向上) 目 標 達成度  (達成)